

手作りの舞台公演が喝采を浴びる
から作り上げた感動の物語

12月19日、御蔵入交流館文化ホールを会場に、町民手作り舞台公演「シンデレラ(サンドリヨン)」が開催されました。プロの演出家や指揮者、ソリストの皆さんと、町民から募った有志の皆さんとが手を取り合い、実現した本公演。携わる皆さんの努力が結実した、迫力ある公演を目の当たりにし、来場者からは大きな拍手が巻き起こりました。

公演に登場した「かぼちゃの馬車」や「シンデレラの衣装」「ポスター原画」などを、御蔵入交流館で展示していますので、ぜひお立ち寄りください。



展示された「かぼちゃの馬車」に乗り、記念撮影もできます



シンデレラ役の中川香里さん[㊦]と王子役の市川浩平さん[㊦]



公演に華を添える「妖精」に扮した子どもたち

田島祇園祭屋台歌舞伎は、江戸時代末期から明治時代初期まで、地域の子どもたちにより上演されてきました。しかし、明治6年に学制が施行されて以降は「教育上好ましくない」という理由から、上演が途絶えた経過があります。子どもたちが歌舞伎を上演する伝統・文化を復活させようと、平成4年9月に設立された「田島祇園祭屋台歌舞伎保存会」は、今年で創立30周年を迎え、元気に楽しく活動を続けています。



information
05

田島祇園祭屋台歌舞伎保存会
演者を募集します

と一緒に盛り上げてくださる演者の方を募集します。

【活動内容】
5月の連休明けから、本格的に活動を開始し、週1回程度の稽古を行います。

【申込締切】
3月1日(火)

【その他】
年齢や経験、住所地を問わず幅広く演者を募集します。活動内容の詳細については、お問い合わせください。
なお、田島祇園祭屋台歌舞伎保存会への参加にあたり、会費などは発生しません。

【申込み・問合せ】
生涯学習課 芸術文化係 電話 0241-62-6311



田島地域 (1月4日:丸山館)



館岩・伊南・南郷地域 (1月5日:南郷総合センター)

輝 令和4年新年町民交歓会
かしい新年に期待を寄せる

1月4日から5日にかけて、新年町民交歓会を開催しました。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するため、制約の多い式典となりましたが、参加者の皆さんは静かに親交を深めた様子。今年の干支である「寅」になぞらえて「果敢に歩みを進める1年にしたい」と抱負を交わす姿もありました。

大宅町長は「『ひとが"集まる"まち』『ひとを"育む"まち』『みんなが"輝く"まち』の実現に向け、ウィズコロナの時代に即したまちづくりを進めていく」と力強くあいさつしました。



年頭のあいさつを述べる大宅町長[㊦]と渡部文一町商工会長[㊦]



「明日を拓くコンサート」
半崎美子 Hanzaki Yoshiko
シヨッピングモールの歌姫

明日を拓くコンサート
全国をめぐり歌を届け、出会った人の人生に触れ、涙に触れる

開催日 令和4年2月26日(土) ■開場:12時50分 ■開演:13時30分
会場 御蔵入交流館 南会津町文化ホール 〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字宮本東22番地
チケット料金 3,000円 全席指定席 未成年入場不可
チケット発売日 令和4年1月8日(土) 午前9:00より

※座席指定は、チケット購入時にお伝えください。 ※前売りにてチケット完売した場合、当日券の販売はありません。 ※チケット購入後の変更・キャンセル・払戻しは出来ません。当日の会場状況で、発券などを理由に入場をお断りした場合は、払戻し措置を講じます。 ※注意事項 ※観劇(演奏)中の入退場についてはご注意ください。 ※場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りします。

【申込み・問合せ】
生涯学習課 芸術文化係 電話 0241-62-6311

information
06

「明日を拓くコンサート」
すてきな歌声をお届け

「シヨッピングモールの歌姫」こと、半崎美子さんによる県内初のソロコンサートを開催します。ぜひご来場ください。

【開催日・開演時間】
2月26日(土)
午後0時50分 開場
午後1時30分 開演

【会場・チケット販売窓口】
御蔵入交流館
【チケット料金】
3千円(全席指定席)
【チケット販売時間】
午前9時〜午後5時
※土・日も販売します。
※未就学児の入場はできません。あらかじめご了承ください。

民 南郷地域各所で早乙女踊り 俗芸能に染まる夜

南郷地域に伝わる「早乙女踊り」は、早乙女(田植えをする女性)と道化(滑稽な動きを見せるひょっとこ)とが、歌や太鼓の音に合わせた踊りを披露することで、1年間の豊作を祈る新年の伝統行事です。

上平区・上町区では1月8日、鶴巣区では1月15日に、地元の中学生や高校生が中心となり、早乙女踊りを披露しました。伝統行事を伝承してきた先輩や、今後の担い手となる後輩が、立派に務めを果たす踊り子たちを温かく見守る様子が印象的でした。



上平区・上町区早乙女踊り



鶴巣区早乙女踊り



踊りを盛り上げるため、地区住民が歌い手に



健 サロン(交流)+エクササイズ(運動) 康で元気な身体を維持したい

冬期間の運動不足解消を目的に開催していた公民館講座が独立した「介護予防運動を实践する会(湯田恭之会長)」は、活動を始めて10年目を迎えました。1月15日の新年初顔合わせには17人が参加。有酸素運動と筋力トレーニングを盛り込んだ、約1時間のエクササイズで汗を流した皆さん。

参加者同士の会話を楽しみ、自分のリズムで運動できることが活動を続けられる秘訣だそう。年齢を問わず、介護予防運動に興味のある方は、足を運んでみませんか。

【問合せ】介護予防運動を实践する会
事務局 渡部 政昭 電話 080-5847-8359



1分間に100回以上足踏み



ゴム製バンドで筋肉を刺激



90歳の渡部正年さん(川島)も妻ヨシイさんと元気に運動



月に3回程度、楽しく生き生きと活動中



キャンドルライトの光に包まれた弁天山

時 第3回弁天山灯籠明かし を忘れさせる光の連鎖

1月16日、夜の帳が下りた弁天山では、横町区の皆さんがソワソワしている様子。歳の神に合わせ、2年ぶりに開催する「灯籠明かし」を前に、650本のキャンドルライトが無事に点火するか...ドキドキしながら見守っています。

いよいよ点火の時間を迎えました。1本ずつ丁寧に設置されたキャンドルライトが、揺らめきながら、優しい光を放ちます。田島市街地からもはっきりとわかる「光の文字」が描かれ、手作りならではの温かい光は、多くの目を楽しませてくれました。



イベントを開催した横町区の皆さん



「歳の神の炎」と「みかん」―夜に映えるオレンジ色



拍手を打つ音が静寂に響く

祭 会津田島祇園祭「御党屋御千度」 礼行事の成功と疫病退散を祈って

寒さ際立つ1月15日の夕刻、上町上側御党屋組の皆さんによる「御党屋御千度」が執り行われました。党本を務めるのは、細井信浩さん(田出宇賀神社)と徳永哲朗さん(熊野神社)。黒の紋付き羽織に身を包んだ10人の男衆が、拝殿と手水舎を往復。二礼二拍手一礼の所作を、ひたむきに繰り返します。

昨年に引き続き、大杯回しは中止となりましたが、代わりに平盃をグイッと飲み干す男衆。祭りの大役を背負い、気を引き締めて帰路につく姿がありました。



上町上側御党屋組の皆さん



かじかむ手を何度もお清め



平盃を飲み干し、神事は終了

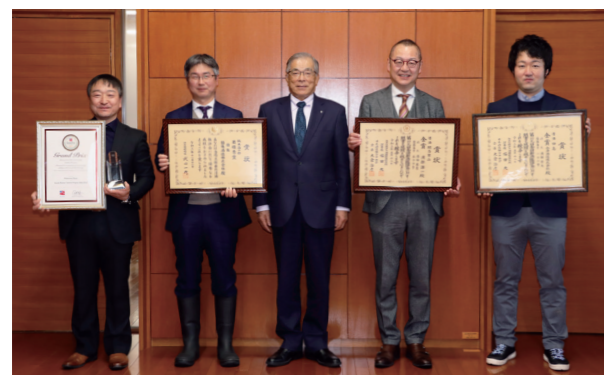
新 14年目を迎える門松の寄贈 年を彩る縁起物が届く

12月28日の仕事納めの日、町シルバー人材センター（芳賀沼順一理事長）の皆さんから、年末恒例となる門松が一对、町へ寄贈されました。

松は神様が宿る木とされ、竹は長寿の象徴。おめでたい紅白の梅、難を転じて福となす南天も添えられた手作りの門松は、新年早々から多くの福を呼び込む目印になってくれました。



左から星源太郎さん、星紀夫さん、大宅町長、芳賀沼理事長、渡部事務局長



栄えある賞状を手にする蔵元の皆さん

理 令和3年の酒造りを振り返る 想の酒造り、追求は続く

1月13日、令和3年に開催された国内外の各種日本酒鑑評会場で、優秀な成績を収められた町内4蔵元の皆さんが、受賞報告のため来庁されました。

会津酒造および開当男山酒造が全国新酒鑑評会で金賞を受賞したほか、国権酒造は東北清酒鑑評会で最優秀賞を受賞、花泉酒造も全米日本酒飲評会でグランプリに輝くなど、酒造技術の高さを改めて証明しました。

よ 館岩地域区長会が町へ要望書を提出 り住みやすい館岩地域へ

1月12日、館岩地域区長会（星昭雄会長）の皆さんから、町へ要望書が提出されました。田代山山腹崩落に関わる国・県などへの働きかけや、国道352号および県道栗山館岩線の整備・改良、コロナ禍における観光業の活性化など、7項目が盛り込まれています。

町では、要望事項を精査しながら、関係機関と協力し、館岩地域の活性化に取り組んでまいります。



大宅町長へ要望書を手渡す館岩地域区長会の皆さん



受章された馬場秀男さんⓄ

地 馬場秀男さんが高齢者叙勲を受章 地域の発展に汗水を流す

1月24日、高齢者叙勲「旭日双光章」を受章された馬場秀男さん（下山）に対し、勲記および勲章が伝達されました。

馬場さんは、昭和43年から9期35年にわたり、旧南郷村議会議員および南会津町議会議員に在職され、道の駅きらら289や南郷ホームの整備などに尽力。南郷地域の観光振興、高齢者福祉の向上に大きく貢献されました。

食 田島高等学校と福島大学による活動成果報告会 と農から南会津町を盛り上げたい

1月17日、発酵食品を使用した新商品の開発や、それを活用した旅行プランの造成など「発酵ツーリズム」を探究する田島高等学校の2年生と、水田と園芸を両軸に「町の農業の未来」を探究する福島大学食農学類の学生により、1年間の活動成果を共同で報告する場が設けられました。「発酵あんこ」や「塩麹豆腐」といった発酵食品のユニークなアイデア、農業のビジネスモデルや加工・流通に関わる考察、関係人口の増加策など、魅力ある提案が数多く示されるとともに、世代を超えた活発な意見が交わされました。



互いの成果報告を尊重しながら積極的に意見やアドバイスを出し合う場に



田島高等学校（D班）の発表「発酵を通じた健康と町おこし」



大学生（水田班）の発表「そばと日本酒による水田農業の活性化」

鹿 公民館講座「レザークラフト講座」 革が創作意欲をかき立てる

12月中3回に分けて開催された標記講座には、11人の女性が参加。おぜしかプロジェクトの小山抄子さんを講師に迎え、色鮮やかに染色された鹿革を使用して「がま口型バッグ」作りに挑戦しました。

柔らかく肌触りが良い鹿革に触れ、アイデアが次々に生まれてくる参加者の皆さん。デザイン性と実用性を兼ね備えた、すてきな作品が完成しました。



オリジナルバッグの出来に大満足！



町長室へ報告に訪れた齋藤成さんⓄ（12月27日）

指 令和3年度日本スポーツ少年団顕彰 導者としての歩みが実る

このたび、南郷スポーツ少年団の登録指導者として活動する齋藤成さん（界）が、令和3年度日本スポーツ少年団顕彰の表彰を受けました。

持ち前の明るさと情熱を前面に出し、ソフトボールの指導に励んできた齋藤さん。楽しく活気にあふれる少年団活動を心がけ、子どもたちの健やかな成長を促してきた功績が、高く評価されました。